

WAVE RUNNER

AXOPAR 25 CROSS TOP

ついに日本に上陸を果たしたフィンランドボートの刺客「AXOPAR 25 Cross Top(アクソパー25クロストップ)」。
それは、ボートデザインに革命を起こし、世界を席巻する「The Adventure Company」AXOPARが、
22フッターと28フッターの間のピースを埋めるために開発した5番目のサイズ。
「ファミリー」「アドベンチャー」というビルダーのキャラクターを打ち出してきたAXOPARにとって重要な、コンパクトサイズの25フッター。
AXOPAR 25 Cross Topが、ニューカマーをはじめ、AXOPARの新たなファンを生み出している。

text: Yoshinari Furuya photo: Makoto Yamada
special thanks: OKAZAKI YACHTS <https://okazaki.yachts.co.jp>





キャビン付きでコンパクトながら手軽にアドベンチャーを楽しめるライトウェイトスポーツ AXOPAR 22 と 28 の中間がジャストサイズな、最強のファンライディングモビリティ!

ボートデザインに革命を起こし、世界を席巻する「The Adventure Company」AXOPAR (アクソパー) の最新モデル「AXOPAR 25 Cross Top (アクソパー 25 クロストップ)」が日本に初上陸を果たした。AXOPAR はこれまでに、AXOPAR 28, AXOPAR 37, AXOPAR 22, AXOPAR 45 とラインナップを増やし拡大。その中で、サイズが離れている22フッターと28フッターの間を埋めるモデルとして、AXOPAR 25が投入された。アッ

パーサイズに移行するビルダーが多い中、「ファミリー」「アドベンチャー」というビルダーのキャラクターを打ち出してきたAXOPARにとっては、コンパクトサイズの25フッターも重要な位置付けと捉えているようだ。ファミリーユースのアクティビティ、アイランドホッピングやビーチエントリーなど、AXOPAR ライフに最も適したAXOPAR 25の開発は、AXOPARのアイデンティティを表したモデルなのだ。



ラブレールのないすっきりとしたハルや、薄く鋭角なバウステム、大きく張り出し飛沫を落とすマイナスチャインやダブルチャイン、立体的なハルデザインなど、機能的で複雑な造形を3ピースのモールドが可能にしている。

ボートビルディングに革命を起こしたAXOPAR。AQUADOR BOATS、XO BOATS、PARAGON YACHTSのデザインに関わってきたフィンランドのボートデザイナー Sakari Mattila が、ボートビルディングの豊富な経験を生かし、2012年に創業したボートビルダー。集大成として、それぞれの名称の一部が使われAXOPARと名付けられたのは有名な話。ヘッドオフィスはフィンランドにあり、建造はポーランドで行われている。

AXOPARの建造プロセスは、一つのハルにモジュール化された数種類のキャビンを組み合わせる特徴的なもの。多くのバリエーションを持ちながら、品質を落とすことなく工期を抑えた新しい工法。革新的な建造プロセスが評価され、Boat Builder Award 2016を受賞。デザインや機能、走りのパフォーマンスだけでなく、コストパフォーマンスでも世界の注目を集めている。

*

AXOPAR 25 Cross Topのハルは、小型ながら大型モデルと変わらない複雑な造形。水面下の特徴は、ツインのステップハル。段をつけ、エアーを取り込むことで、接水面を減らし、ハイスピードでソフトライドの走りを生み出している。これは、パワーボートレースに登場するパフォーマンス

ボートで開発されたボトムデザイン。そして、個性的なダブルチャインと、ハルサイドの窪みは、キャラクターを与えるだけでなく、飛沫をハルから切り離し、ドライで快適なデッキやコクピットを実現している。これらの複雑なデザインを可能にしたのは、3ピースに分割するモールド。極限までシャープなバウステムやエントリーの造形、ハルサイドの窪んだデザインを可能とした。ハルとアッパーデッキとの境目を隠すラブレールがないのも大きな特徴。AXOPAR 25 Cross Topにデザインのスパイスを加え、画一的ではないシャープなスタイリングを完成させた。

*

MERCURY 製300馬力のアウトボードが搭載されたトランサムから乗船する。アウトボードの左右には、830mm 後方に伸びるスイムプラットフォーム。トランサム側からの乗り降りを容易にしている。ラダーも収納され、海水浴用として使えるだけでなく、大型のスイムプラットフォームがあることで、アウトボードのメンテナンスも容易で安全に行うことができる。

トランサムにはトローリング用のアーチが備わる。ファミリー向けのマルチパーパスボートとしてマストアイテム。トローリングロープがアウトボードに



フロントウィンドシールドは角度を変えることができ、通常は低く340mm、荒天や強風時には最大550mmまでシールドを上げることができる。AXOPARの名が記されたオリジナルのリップアップ機能付きのボルスターシートや、黒に統一されたスバルタンな金属パーツなど、クラスを超えたエクステリアがAXOPARの魅力でもある。

干渉することなく、チルトアップを可能にし、スイムプラットフォーム付近の移動時には、体を支えるハンドレールにもなる。

アフトデッキのレイアウトは、3人がゆったりと座ることができるU字ソファ。センターテーブルは着脱式。テーブルのポールをショートタイプに交換し、専用のクッションを敷くことで、サンタンベッドにすることもできる。

トランサムと一体のアフトソファはスタンダード。座面を開けると、メインスイッチや配電盤が配置されたドライストレージ。左右のベンチは追加オプション。座席の下は、ライフジャケットやマリントイなどを収納することができるオープンストレージ。このタイプ以外に、サンタンベッドやバックレストの置き方で、横や縦のベンチソファに変形できるマルチ・ストレージ・コンパートメント仕様も選ぶことができる。ファミリーユースやマリレジャーには、前者のUソファが人気。フィッシングシーンのウェイトが高いユーザーには、アフトソファだけのスタンダード仕様で、アフトデッキを広く使うのも良いが、マルチ・ストレージ・コンパートメント仕様で左右

外向きに座り竿を出すのも快適だ。

そして、中央には、カディタイプのヘルムステーション。座席は、リップアップのボルスターシートが2台。後方に向け、センターテーブルを囲むようにアレンジすることもできる。カディのコンソールを守る全幅1,170mmに及ぶフロントウィンドシールドには、角度を変えることができる仕掛けが備わる。スポーティーで低くした時はおよそ340mm。スタンディングで操船する時や荒天や強風で飛沫を受けるような時には、最大550mmまでシールドを上げることができ、キャプテンとクルーを風や飛沫から守ってくれる。

Tトップは、AXOPAR 25 Cross Topの特徴。もう一つの25フッター、AXOPAR 25 Cross BowはTトップのないオープンデッキスタイル。シチュエーションや好みで選ぶことができる。そのTトップは、フレームにキャンバスが張られたソフトトップ。軽量で重心が抑えられている。強度計算されたラダータイプのピラーやフレームは剛性が高く、40ノットの走



行時でも大きく揺れることはない。また、きしみ音など不安にさせる要素を何一つ感じることもない。

パウデッキには、ポートサイドに設けられたサイドデッキから移動する。サイドデッキ以外のパウデッキは、長さ1,320mm、幅およそ1,180mmのサンパッドに覆われている。トップライトを遮らないようにクッションが装着されたバックレストや、左右のカップホルダー、体を支えるためのハンドベルトなど、ユーザー目線のきめ細かいエクステリアが備わる。パウスラスタや電動ウィンドラスなど、クルージングをイージーに楽しむための装備も充実している。

*

キャビンに入るコンパニオンウェイは、ヘルムステーションのスターボー

ドサイド。480mmの開口部を持つスライドドアは、広く出入りがしやすい。キャビンの中、パウ側にはVバース。1,980mmの長さに、最大幅1,500mmの三角に近い台形のダブルベッドが備わる。ベッドの天井高も560mm確保され、快適に就寝できる。そして、ポートサイドのクッションを上を開けるとトイレが現れる。座面から天井までは1,010mmが確保され、ヘッドクリアランスも十分。天井部にはトップライトもあり、サイズ以上に明るく広く感じさせてくれる。ポートサイドの壁際にはミニシンクも備わり、オーバーナイトのクルージングも快適に過ごすことができる。

*

フリップアップしたヘルムシートに体を預けスタンディングで操船する。北東の強風で白波が立つ八景島沖のラフな海面でシートリアルが行

われた。1,000rpmでは、5.0ノットの低速で前進する。2,000rpmでも8.7ノット。高回転で高速向きのプロペラは、軽いトルクで徐々に加速する。3,000rpmで21.3ノット。スムーズに回転が上がり、気づけば4,000rpmで29.3ノットに達していた。さらに加速すると、ストレスなく5,000rpmまで一気に回り、36.3ノットを更新。この日最高の5,600rpmまで上げると、GPS上では瞬間的に44ノットを記録する。

30ノットオーバーのスピードでマニューバを描く。AXOPAR全モデルに共通するパンチ力のあるトルク感と剛性感の高いハンドリング。それに加え、レスポンスとグリップのバランスが良いAXOPAR独特のファンなフィーリング。安定感がありながらクイックなレスポンスで意のままに操れる感覚のマニューバビリティを存分に楽しむことができる。

*

AXOPAR 25 Cross Topは、22よりも快適なデッキやキャビンを持ち、28よりはコンパクトで手軽にアドベンチャーを楽しめるライトウェイトス



ポーツボート。ファミリーやニューカマーはもちろん、キャビンクルーザーのセカンドボートとして、ファンライディングのモビリティとしても最適かつ最強のボートとなるだろう。P.B.



「AXOPAR」と刻印されたオリジナルのクリート、デザインの良いスイッチ、デザインを邪魔せずコンパクトに収納できるシャワーヘッド、スタイリングの一部としてデザインされたオリジナルのTトップなど、一つ一つにビルダーのこだわりを感じさせてくれる。パウのVバースは明るくヘッドクリアランスも充分で、オーバーナイトも快適に過ごすことができる。



AXOPAR 25 Cross Top

全長 8.00 m
全幅 2.23 m
喫水 0.85 m
重量 1.75 ton
エンジン MERCURY Verado 300
最高出力 300 HP
燃料タンク 230 L
問い合わせ先 オカザキヨット
TEL: 西宮 0798-32-0202、横浜 045-770-0502
<https://okazaki.yachts.co.jp>



YouTube